

障連協にゅーす

第 17 号

発行日 2009年11月10日
 編集 NPO法人 旭川障害者連絡協議会
 発行者 峰 木 光 春
 住所 旭川市宮前通東4155番地30
 旭川市障害者福祉センター
 「おびった」3F
 電話 0166-31-2226

■障連協にゅーす 17号目次

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 『障害者週間』記念事業 | 3 平成21年度旭川市障害者スポーツ記録大会 |
| 2 第5回「おびったまつり」 | 3 おびった号の新しい運転手さん |
| 3 サークル紹介 あめんぼう | 4 「ちょっと井戸端」……阿部 龍雄 |
| 3 サークル紹介 Ms澄(みずすまし) | 4 各団体これからの行事(12月～3月) |

平成21年度旭川市『障害者週間』記念事業

■旭川市『障害者週間』記念事業

と き：平成21年11月1日(日) 10:00～16:10
 ところ：旭川市障害者福祉センター「おびった」体育館

平成21年度の旭川市障害者週間記念事業は、例年よりひと月早い2009年11月1日(日)障害者福祉センター「おびった」体育館において開催されました。雪を避けるための日程のはずが、あいにく積雪15cmという朝を迎え出足を遅らせたようですが、約500名の参加がありました。

オープニングの明成高校福祉エリア生徒さんの手話歌と、手話サークル旭川三親会さんと手話合唱「ありがとう」「翼をください」などには、元気と勇気をいただきました。ついで、高津修実行委員長の開会挨拶、旭川市長代理の障害福祉課課長中瀬武様よりメッセージを頂戴しました。また旭川市議会民生常任委員長上村ゆうじ氏、旭川市社会福祉協議会地域福祉課課長牛島裕士氏より来賓挨拶をいただきました。

ジ・アルバトロス(ビートルズコピーバンド)の演奏は、体育館を揺るがし往年のファンの手拍子をさそっておりました。そのあと「私の提言 旭川市に高等養護学校を設置する要望」として「旭川市に高等養護学校をつくる会」事務局長の青島多美子氏が、これまでの経過を含め読み上げてアピールをされました。続いて若さあふれるリズムに乗ったジャズダンス(UNITY)は、お昼の休憩を挟んで前後の2回、



ジ・アルバトロスの演奏



UNITYのジャズダンス

衣装を替えて踊り、さすがに汗の粒が見えていました。

基調講演は、旭川赤十字病院 脳神経外科部長 上山 博康先生。テレビですでに「神の手」として有名ですが、こんなに身近でお話を伺えるという

ので体育館は満員の状態でした。空港から真っすぐに駆けつけられ、テーマを「生涯(障害)健やかに生きる」と替えましたと・・・早口でお話を進めていかれました。



上山 博康先生の講演

脳の病気の難しい手術について、画面上に鮮やかなメスの動きを見ましたが、どんな時でも逃げない、自分には戦う、そのために自分を鍛えるとの信念、プレッ



大湊 幸秀氏の講演

シャーを楽しむともお話していただきました。有意義なお話にて会場が引き込まれていました。

最後の「音楽療法で元気になろう」では、テーマのとおりすっかりお話にはまって、昔なつかしい歌を口ずさんだり、簡単なクイズに答えて知らぬ間に声が出ていたり、帰る頃の気分の爽やかさに驚きました。講師は、日本ナラティブ音楽療法協会理事長 大湊 幸秀氏でした。

会場内に設けられていた福祉施設・作業所等の授産販売が賑わっていました。

また、この記念事業に市内の各学校から多くの学生さん、手話サークル旭川三親会の皆さん等がボランティアとして関わり、ご協力下さいましたことに改めてお礼を申し上げます。

第5回「おびったまつり」開催

と き：平成21年8月8日(土) 12:00~18:00
 ところ：旭川市障害者福祉センター「おびった」
 主催：NPO法人旭川障害者連絡協議会

真夏日に開催された第5回「おびったまつり」

3,600人の市民の皆さんの来場があり、今年も盛祝のうちに終わりました。

恒例のアトラクションは「旭川凌雲高校」の吹奏楽の演奏で始まり、「ねむのき保育園鼓笛隊」、「レイ・アロハ・フラスタジオ旭川」のフラダンス、「旭川北都中学校」の吹奏楽、「旭川華酔組」のよさこいソーラン、「PL旭川MBA」のバトントワリング、「秀光会」の旭川音頭、「大野英二」さんの歌謡ショー、「旭川実業高校」の和太鼓、最後に和太鼓の演奏に合わせて参加者の皆さんで盆踊りを楽しみました。

アトラクションの合間には衆議院選挙を控えた各政党の立候補者のみなさんや道議会、旭川市議会の議員の皆さんの政策の訴えがありました。

日差しが強いなか、舞台袖の parasol のある観客席は満員でアトラクションに歓声があがっていました。

飲食の出店は、アイスクリームやかき氷は暑さも終日行列ができる程の人気でした。

焼きそばや焼肉コーナーも用意した材料が途中で無くなり、担当者が何回も買出しに走るほどでした。ミニSLコーナーも終日子供たちの和やかな歓声があがり、順番待ちの列ができていました。

障連協に加盟する障害者団体の事業所の出店は「おびったまつり」に向けて準備した手作り製品や農産物が好評でした。

来年も、多くの人たちが集うことのできる、「おびったまつり」にしていきたいと思います。

「おびったまつり」写真



西川旭川市長と峰木理事長



レイ・アロハ・フラスタジオ旭川のフラダンス



ミニSL



PL旭川MBAのバトントワリング



出店も大盛況



旭川実業高校の和太鼓

サークル紹介

水泳サークル
あめんぼう

代表の今川秀幸さんにお話を伺いました。

サークルをつくったきっかけは？

当時本職は水泳の講座の講師をしていたのですが仕事とは別に近文のふれあいプールができたときにたちあげました。その時は一般の人が対象でした。個人的に身体障害の人にも教えていました。その後身体障害のある人たちから教えてくれと頼まれてそのサークルにもかかわりました。様々な障害のある人たちも参加してきたので自分にとっても勉強になりました。

サークルの由来は？

池の上をスイーツと泳ぐあめんぼうのようにあんな感じでゆったり泳げたらいいな、きびしい練習を

するというのもきれいなので「あまえんぼ」にも掛けて「あめんぼう」にしました。

活動は？

毎週水曜日午後7時から練習しています。現在5名の会員でゆったり泳いでいます。



あめんぼう

サークル紹介

水泳サークル
Ms澄 (みずすまし)

コーチの小林義彦さんにお話を伺いました。

Ms澄は、ビスポ旭川(障連協にゆーすNo.16号に掲載)に所属している子どもたちの母親を中心としたサークルです。現在の会員は8名で、月2回水曜日午後7時から練習しています。

活動を始めたきっかけは「ビスポ旭川」の練習時に、コーチの補助にプールに入ることもあるので、親自身が泳げるようになることでした。

今では全員が泳げるようになり、メンバーの中にはかなりのレベルに達している人もいます。“練習は楽しく泳ぐこと”をモットーにしているので、和気あいあいとした雰囲気の中で、各自の体調な

ども考慮しながら行っています。

水泳は年齢に関係なく続けていけるスポーツなので、これからもメンバー全員で長く泳いでいければと思っています。



Ms澄 (みずすまし)

障連協行事紹介

平成21年度
旭川市障害者スポーツ記録大会

- 日時:平成21年12月6日(日)
9時15分～ 参加者=250名(予定)
- 場所:旭川市障害者福祉センター「おびった」全館
- 競技内容
 - ①卓球個人戦
 - ②サウンド・テンプル・テニス個人戦
(マスク使用、ノーマスク)
 - ③ボッチャ団体戦
 - ④障害別水泳
 - ⑤フライングディスク



おびった号の新しい運転手さん

バス運転手の大場新次郎氏が10月末で定年退職されました。11月1日より久慈和也氏が勤務されています。

今後共 よろしくお願いします。



